

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月17日 (2016.3.17)

【公開番号】特開2015-126988(P2015-126988A)

【公開日】平成27年7月9日 (2015.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-044

【出願番号】特願2015-79768(P2015-79768)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月28日 (2016.1.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件が成立したときに抽選用乱数を取得する乱数取得手段と、  
前記乱数取得手段により取得された抽選用乱数に基づいて抽選を行う抽選手段と、  
前記抽選の結果が当りであるときに遊技者に利益を付与する利益付与状態に制御する利益付与状態制御手段と、  
前記乱数取得手段により取得された抽選用乱数を記憶する記憶手段と、  
前記記憶手段により前記抽選用乱数が記憶されていることを示す記憶表示を行う記憶表示手段と、  
前記記憶手段に記憶された抽選用乱数に基づいて、前記記憶表示の態様を複数の態様のうちいずれかに変化させる変化演出を実行する変化演出実行手段と、  
前記記憶表示の態様として変化させうる前記複数の態様の各々に対応する特定表示を、前記記憶表示とは別に行う特定表示手段と、を備え、  
前記記憶表示の態様は、当該記憶表示に対応する抽選用乱数に基づく前記抽選の結果が当りになる可能性を示唆するものであり、  
前記特定表示手段は、  
前記変化演出を実行する場合、前記記憶表示の態様が変化するとき該変化後の記憶表示の態様に対応する特定表示を行う演出時特定表示手段と、  
前記変化演出を実行しない場合、特定条件の成立に基づいて前記特定表示を行う非演出時特定表示手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

ところで、上記した保留表示では、少なくとも図柄の変動表示が行われる残り回数を示す他に、その保留表示を対象として予告演出を実行し、図柄の変動表示に対する大当たり期待度を示すことがある。しかしながら、保留表示に対する予告演出の実行により図柄の変動表示に対する大当たり期待度が示されるだけでは、この保留表示に対する予告演出が十分

に活かしきれていなかった。本発明は、上記した事情に鑑みなされたもので、その目的とするところは、保留表示に対する予告演出を十分に活かしきった遊技機を提供することにある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、  
始動条件が成立したときに抽選用乱数を取得する乱数取得手段と、  
前記乱数取得手段により取得された抽選用乱数に基づいて抽選を行う抽選手段と、  
前記抽選の結果が当りであるときに遊技者に利益を付与する利益付与状態に制御する利益付与状態制御手段と、  
前記乱数取得手段により取得された抽選用乱数を記憶する記憶手段と、  
前記記憶手段により前記抽選用乱数が記憶されていることを示す記憶表示を行う記憶表示手段と、  
前記記憶手段に記憶された抽選用乱数に基づいて、前記記憶表示の態様を複数の態様のうちいずれかに変化させる変化演出を実行する変化演出実行手段と、  
前記記憶表示の態様として変化させうる前記複数の態様の各々に対応する特定表示を、前記記憶表示とは別に行う特定表示手段と、を備え、  
前記記憶表示の態様は、当該記憶表示に対応する抽選用乱数に基づく前記抽選の結果が当りになる可能性を示唆するものであり、  
前記特定表示手段は、  
前記変化演出を実行する場合、前記記憶表示の態様が変化するとき該変化後の記憶表示の態様に対応する特定表示を行う演出時特定表示手段と、  
前記変化演出を実行しない場合、特定条件の成立に基づいて前記特定表示を行う非演出時特定表示手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項 1 記載の遊技機によれば、記憶表示の態様によって当該記憶表示に対応する抽選用乱数に基づく抽選の結果が当りになる可能性を示唆するだけでなく、変化演出を実行する場合、記憶表示の態様が変化するとき該変化後の記憶表示の態様に対応する特定表示を行うことで、変化演出が実行中である旨を気付き易くすることができる。また、変化演出を実行する場合だけでなく、変化演出を実行しない場合にも、特定条件の成立に基づいて特定表示を行うことができる。